

令和8年2月8日
執行

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

茨城県選挙会
茨城管理委員

茨城県第3区



“3つの柱と9の政策”

ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験競争にのみが苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする の柱 ～経済・産業・移民～

- 1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。
- 2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。
- 3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくれます。

2 日本人を守り抜く の柱 ～食と健康・一次産業・エネルギー～

- 4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給率を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。
- 5 **エネルギーと資源確保が生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。
- 6 **安心医療で健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む の柱 ～教育・人づくり・国家観～

- 7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくれます。
- 8 **受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。
- 9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は**参政党**とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから!



さいとう まい プロフィール 取手市出身35歳。江戸川学園取手中学、専修大学松戸高等学校、芝浦工業大学工学部土木工学科卒。東京都港区役所に約10年勤務し、常に住民の不安や要望を第一に考え、道路整備、再開発事業、都市防災などに携わる。利権や保身で変わらない時代遅れの政治を変えるため、「投票したい政党がないから自分たちでゼロからつくる」がスローガンの「参政党」から候補。



参政党公認
さいとう まい

家計を守り、明日を変える

物価高・医療・地域の足

かじおか博樹が目指す**3つの政策**

3歳の娘の子育て中。父の入院をきっかけに、医療と介護の重要性を実感しました。子育てをしながら入院対応の難しさも経験し、暮らしの現場から政策を磨いてきました。



中道改革連合公認
かじおか 博樹
ひろき 48歳

その1 物価高から家計を守る



- 食料品の消費税を恒久的にゼロに (2026年秋から)
- 給食・子ども医療など、子育て世帯の負担を軽くする
- 中小企業の賃上げを後押し (価格転嫁と取引の適正化)

その2 医療と介護の安心を守る



- 社会保険料の負担を軽減
- 介護職の処遇改善と人手確保で、家族の負担を軽くする
- 在宅医療・訪問看護・リハビリを支え、通院不安を減らす

その3 通院・買い物の足をを守る



- 通院・買い物の移動を支える (デマンド交通・コミュニティ交通)
- タクシー等の移動支援を整え、交通の空白を埋める
- 高齢者も子育て世代も移動に困らない地域へ

財源：赤字国債に頼らず、政府系ファンド (ジャパン・ファンド) の創設と基金の活用で財源を確保し、食料品消費税ゼロと社会保険料負担の軽減を実行します。

かじおか博樹 プロフィール

1977年(昭和52年)生まれ 48歳
・元茨城県議会議員(2期)
・江戸川学園取手高校卒
・慶應義塾大学法学部卒
・妻と娘の3人暮らし
・2025年秋、特別支援学校の2泊3日の修学旅行に付き添いボランティアとして参加

選挙事務所

住所：〒302-0024 茨城県取手市新町4-8-4
TEL：0297-45-4487

詳しい政策・動画・活動はこちらから
kajiohahiroki.com



私はこれまで2度、国政に挑戦し届きません

でしたが、だからこそ地域を歩き、声を聞き、暮らしの現場から政策を磨いてきました。3度目の挑戦です。

どうか、**かじおか博樹**に
お力を貸してください。

小選挙区はかじおか博樹 / 比例代表は中道改革連合

衆議院議員総選挙

投票日

2月8日

動かそう未来を。行こう、選挙!

- 投票日の当日、仕事や旅行などで、投票に行けない方は、期日前投票制度をご利用ください。
 - 期日前投票は、1月28日(水)から2月7日(土)までの間、お住まいの市町村の役場などで投票することができます。
- ※最高裁判所裁判官国民審査の期日前投票期間は、2月1日(日)からとなります。
詳しくは、お住まいの市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

期日前
投票期間

1月28日(水)～2月7日(土)

(一部の期日前投票所を除く。最高裁判所裁判官国民審査は2月1日(日)～)

茨城県選挙管理委員会

検索



茨 ひより
(茨城県公認VTuber)

茨城県選挙管理委員会

令和8年2月8日
執行

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

茨城県選挙会
茨城理委員

茨城県第3区

自民党公認

比例代表は
自民党とお書きください

プロフィール

昭和34年10月12日生まれ
昭和57年 東京大学法学部卒／
警察庁入庁
在インドネシア
日本大使館1等書記官
警察庁少年課理事官
(警視正)
平成15年 衆議院議員初当選
平成25年 財務大臣政務官
平成26年 法務副大臣 兼
内閣府副大臣
平成27年 衆議院法務常任委員長
平成28年 党総務部会長
令和2年 農林水産副大臣
令和4年 法務大臣
令和6年 衆議院議員7期目当選
令和7年 党治安・テロ・サイバー
犯罪対策調査会長



ホームページ



LINE



Instagram

前衆議院議員 はなし康弘は約束します！



自民党公認

はなし康弘
やすひろ
昭和三十四年生

○高市総理を全力で支え、
強い日本をつくります

- ・総理の後任の治安・テロ・サイバー犯罪対策調査会長として、国民の生命・身体・財産を守る
- ・防衛力・外交力の抜本的強化で国民と国土を守る
- ・国土強靱化の推進で災害に強い日本をつくる
- ・秩序ある外国人との共生社会を実現する
- ・憲法改正で国民が主役の国防のあり方を明確にする



YouTube

○責任ある積極財政で物価高に負けない
豊かな日本をつくります

- ・農業基盤整備で水田の生産力を大幅にアップする
- ・設備投資促進税制で、実質賃金増の環境を整備する
- ・重点分野への未来投資で、生活の豊かさを取り戻す
- ・教育負担の軽減で、子育てへの不安を解消する
- ・医療・介護の財政支援で社会保障の持続性を確保する
- ・郵便局ネットワークの活用で、地域の活性化を図る

○地域の賑わいを取り戻す
プロジェクトを進めます

- ・取手市への関東最大級のショッピングセンター計画
- ・TXの東京駅延伸と羽田空港との接続
- ・導水事業の概成による霞ヶ浦周辺地域の観光資源化などを実現させ、地域の賑わいを取り戻します



比例代表も
自民党へ

葉梨康弘は、昨年十月まで、治安・テロ・サイバー犯罪対策調査会長の長代理として、高市会長（現総理）とコンビを組んでいました。
また、法務大臣や農林水産副大臣として、外国人との秩序ある共生や、水田の生産力強化を進めてきました。
葉梨康弘は、高市総理との信頼関係や、これまでの実績と経験をいかし、全力で政策を推進して参ります。
みなさん、葉梨康弘とともに、「確かな政治」をつくり、「確かな未来」を構想していこうではありませんか。

選挙区は 加川ゆうみ 比例は れいわ



れいわ新選組公認
加川ゆうみ

- 1 消費税は さっさと廃止で 景気をアゲる！
- 2 今すぐ つなぎの 現金10万円
- 3 社会保険料は 国のお金で 引き下げる
- 4 生きててよかった と思える国 ～今すぐできる 少子高齢化対策～
- 5 戦争ビジネス には 加担しない

日本を守る とは あなたを守る ことから始まる



れいわ新選組 代表
山本 太郎

くわしくは
ホームページを
ご覧ください



加川ゆうみ プロフィール

最後に愛は勝つ！どんなに道は険しくても。
1964年生まれ。日本大学芸術学部卒。企業広報部や広告代理店でコピーライターとして勤務。2人の子育てをするうちに、福祉や教育の課題にぶつかり、2014年よりNPO職員として働く。交通安全や公立幼稚園の存続運動を契機に、2019年牛久市議会議員となる。2024年衆議院議員茨城県第三区立候補。現在は「れいわ新選組」党職員、NPO法人講師、外国籍児童支援員として活動中。

加川ゆうみ X



みんなが
いちばん。

衆議院議員総選挙

投票日

2月8日

動かそう未来を。行こう、選挙！



茨城県選挙管理委員会

- 投票日の当日、仕事や旅行などで、投票に行けない方は、期日前投票制度をご利用ください。
- 期日前投票は、1月28日(水)から2月7日(土)までの間、お住まいの市町村の役場などで投票することができます。
※最高裁判所裁判官国民審査の期日前投票期間は、2月1日(日)からとなります。
詳しくは、お住まいの市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

期日前
投票期間

1月28日(水)～2月7日(土)

茨城県選挙管理委員会

検索



(一部の期日前投票所を除く。最高裁判所裁判官国民審査は2月1日(日)～)